



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社ブロードリーフ 上場取引所 東  
 コード番号 3673 URL <https://www.broadleaf.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大山 堅司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 山中 健一 TEL 03-5781-3100  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	5,516	15.9	853	141.8	834	180.0	529	174.6	540	175.1	538	146.1
2025年12月期第1四半期	4,758	18.5	353	—	298	—	193	—	196	—	219	342.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	5.98	5.84
2025年12月期第1四半期	2.19	2.13

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	41,940	24,608	24,597	58.6
2025年12月期	41,425	24,293	24,271	58.6

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	2.50	—	3.50	6.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,400	5.9	1,100	42.6	1,050	75.0	700	68.0	7.74
通期	23,500	12.9	4,800	132.7	4,750	156.2	3,200	158.0	35.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	97,896,800株	2025年12月期	97,896,800株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	7,383,427株	2025年12月期	7,804,791株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	90,255,873株	2025年12月期1Q	89,454,023株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年5月13日（水）に機関投資家・アナリスト向けにテレフォンカンファレンス形式で説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復が続きました。一方で、米国の通商政策の動向や中東情勢の緊迫化を背景に、為替変動、物価上昇、金利上昇などへの懸念が高まっており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと、慢性的な人手不足への対応を目的とした自動化に加え、新たなビジネス機会の創出に向けたAI活用など、企業によるDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みが積極化しています。こうしたデジタル化需要の拡大を背景に、当社グループが事業展開する国内ITサービス市場は成長を続けています。

これらの事業環境を追い風と捉え、当社グループは「モビリティ産業を支えるインフラ企業」として、企業間ネットワークの基盤となるプラットフォームサービスの付加価値向上を進めています。具体的には、プラットフォームサービスの主要メニューであるクラウドソフト『.cシリーズ』の導入を加速させるとともに、自動車補修部品の受発注プラットフォームの利便性向上に取り組んでいます。また、様々な業務システムや社会インフラシステムとのシームレスな連携を拓げることで、モビリティ産業の活性化にも寄与してまいります。

これらの取り組みにより、当第1四半期のクラウドサービス売上は、クラウドソフトのお客数増加に伴い前年同期比36.5%の増加となりました。一方、パッケージソフトをご利用のお客様によるクラウドソフトへの切り替えが順調に進んでいることから、パッケージシステム売上は同16.1%の減少となりました。また、ソフトの切り替えに際するPC等の更新需要を取り込んだことにより、その他売上は同16.6%の増加となりました。なお、お客様によるクラウドソフトへの切り替えは、クラウドサービス売上とパッケージシステム売上の構成比を変化させるものの、全体売上にとって増加要因となっています。この増収要因は、クラウドソフトへの計画的な切り替えが完了するまで継続する見込みです。

コスト面においては、クラウドソフトの付加価値向上を目的とした機能追加に伴い減価償却費が増加したほか、サービス品質のさらなる向上を図ったことによりITインフラ費が増加しました。一方で、生成AIを積極的に業務に取り入れ、営業活動や開発・管理業務の効率化を強化するなど、コストの最適化を推進しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益55億16百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益8億53百万円（前年同期比141.8%増）、税引前四半期利益8億34百万円（前年同期比180.0%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益5億40百万円（前年同期比175.1%増）となりました。

当社グループは、自社開発のITサービスを主として直販でお客様に提供する事業形態のため、総コストに占める固定費の比率が高くなっています。特に、中期経営計画（2022-2028）期間においては、既存のお客様によるクラウドソフトへの切り替えが中心となることから、増収が進むにつれて営業利益率も上昇する構造となっています。このような特徴があることから、当第1四半期連結累計期間における売上収益営業利益率は15.5%となり、前年同期比8.1ポイント上昇しました。

当社グループはITサービス事業の単一セグメントですが、サービス区分別の売上内訳は以下のとおりとなります。

（単位：百万円）

区 分	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）	前年同期比（増減率）
クラウドサービス	2,490	3,398	36.5%
パッケージシステム	1,610	1,350	△16.1%
その他	659	768	16.6%
合 計	4,758	5,516	15.9%

## クラウドサービス

クラウドソフト『.cシリーズ』をはじめとするサブスクリプション型ソフトの利用料や、自動車補修部品の受発注プラットフォームに係る手数料により構成されています。

## パッケージシステム

携帯ショップ、旅行業、バス運行業、機械工具商社、製造業に対応したパッケージソフトの販売代金（リース販売または一括販売）や、パッケージソフトの利用に際して必要な各種サービス料により構成されています。

その他

PC等のハードウェア類やサプライの販売代金により構成されています。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

### ① 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて5億16百万円増加し、419億40百万円となりました。流動資産は9億49百万円減少の75億15百万円、非流動資産は14億64百万円増加の344億25百万円となりました。流動資産の減少の主な要因は、現金及び現金同等物が7億28百万円、営業債権及びその他の債権が2億92百万円減少したことによるものであります。非流動資産の増加の主な要因は、有形固定資産が10億3百万円、無形資産が4億61百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて2億円増加し、173億32百万円となりました。流動負債は6億55百万円減少の146億89百万円、非流動負債は8億55百万円増加の26億42百万円となりました。流動負債の減少の主な要因は、契約負債が1億38百万円増加したものの、その他の流動負債が4億53百万円、営業債務及びその他の債務が2億55百万円、短期有利子負債が1億47百万円減少したことによるものです。非流動負債の増加の主な要因は、長期有利子負債が8億61百万円増加したことによるものです。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本は、前連結会計年度末に比べて3億16百万円増加し、246億8百万円となりました。資本の増加の主な要因は、利益剰余金が2億25百万円増加、自己株式が1億11百万円減少、資本剰余金が77百万円増加、その他の資本の構成要素が87百万円減少したことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの分析

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて7億28百万円減少し、33億93百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、12億42百万円（前年同期比268.3%増）となりました。この主な要因は、未払従業員賞与の減少額3億60百万円、営業債務及びその他の債務の減少額2億71百万円があったものの、減価償却費及び償却費8億68百万円、税引前四半期利益の計上8億34百万円、営業債権及びその他の債権の減少額2億92百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、11億20百万円（前年同期比4.4%減）となりました。この主な要因は、無形資産の取得による支出11億11百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、8億50百万円（前年同期比436.8%増）となりました。この主な要因は、配当金の支払額3億15百万円、長期借入金の返済による支出3億1百万円、リース負債の返済による支出2億13百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の中間連結会計期間（2026年1月1日～2026年6月30日）の連結業績予想は、2026年2月12日に公表した「2025年12月期 決算短信 [IFRS]」に記載の予想値から変更なく、売上収益104億円、営業利益11億円、税引前中間利益10億50百万円、親会社の所有者に帰属する中間利益7億円です。また、通期（2026年1月1日～2026年12月31日）の連結業績予想につきましても同様に変更なく、売上収益235億円、営業利益48億円、税引前利益47億50百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益32億円です。

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する情報は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。これらの業績予想等に過度に依拠することはお控えくださいますようお願い申し上げます。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,121,331	3,393,181
営業債権及びその他の債権	3,707,689	3,415,270
棚卸資産	325,793	205,137
その他の金融資産	3,000	3,000
その他の流動資産	306,285	498,822
流動資産合計	8,464,097	7,515,408
非流動資産		
有形固定資産	914,485	1,917,864
のれん	11,167,691	11,167,691
無形資産	18,561,141	19,021,689
持分法で会計処理されている投資	0	0
その他の金融資産	901,490	912,376
その他の非流動資産	141,129	136,921
繰延税金資産	1,274,548	1,268,250
非流動資産合計	32,960,485	34,424,792
資産合計	41,424,583	41,940,200
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,707,875	2,453,044
契約負債	8,389,084	8,527,082
短期有利子負債	3,073,687	2,926,497
未払法人所得税	247,327	309,972
その他の流動負債	926,176	472,813
流動負債合計	15,344,149	14,689,408
非流動負債		
長期有利子負債	1,383,871	2,244,399
退職給付に係る負債	231,517	236,261
引当金	137,090	137,113
その他の非流動負債	35,116	24,633
非流動負債合計	1,787,593	2,642,406
負債合計	17,131,742	17,331,814
資本		
資本金	7,147,905	7,147,905
資本剰余金	7,615,311	7,692,563
自己株式	△2,687,824	△2,576,687
利益剰余金	11,297,136	11,521,783
その他の資本の構成要素	898,625	811,605
親会社の所有者に帰属する持分合計	24,271,153	24,597,170
非支配持分	21,688	11,216
資本合計	24,292,841	24,608,386
負債及び資本合計	41,424,583	41,940,200

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	4,758,360	5,516,478
売上原価	△1,638,138	△1,767,085
売上総利益	3,120,222	3,749,393
販売費及び一般管理費	△2,758,466	△2,902,936
その他の営業収益	12,184	7,031
その他の営業費用	△21,179	△404
営業利益	352,762	853,084
金融収益	7,564	3,597
金融費用	△51,058	△23,112
持分法による投資損益 (△は損失)	△11,539	—
税引前四半期利益	297,727	833,569
法人所得税費用	△104,977	△304,270
四半期利益	192,750	529,299
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	196,224	539,771
非支配持分	△3,474	△10,472
四半期利益	192,750	529,299
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	2.19	5.98
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	2.13	5.84

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期利益	192,750	529,299
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産の公正価値の純変動	7,952	8,843
純損益に振替えられることのない項目合計	7,952	8,843
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	17,891	△180
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	17,891	△180
税引後その他の包括利益合計	25,844	8,662
四半期包括利益	218,594	537,962
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	222,068	548,434
非支配持分	△3,474	△10,472
四半期包括利益	218,594	537,962

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	譲渡制限付株式
2025年1月1日残高	7,147,905	7,558,945	△2,926,532	10,407,827	957,589	△13,294
四半期利益	—	—	—	196,224	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	—	196,224	—	—
自己株式の処分	—	8,459	161,428	—	△186,227	—
配当	—	—	—	△178,432	—	—
株式報酬取引	—	—	—	12,937	62,451	13,294
支配継続子会社に対する持分変動	—	△16,377	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△7,918	161,428	△165,495	△123,776	13,294
2025年3月31日残高	7,147,905	7,551,027	△2,765,104	10,438,556	833,813	—

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	合計			
2025年1月1日残高	△47,732	56,814	953,378	23,141,522	1,870	23,143,393
四半期利益	—	—	—	196,224	△3,474	192,750
その他の包括利益	17,891	7,952	25,844	25,844	—	25,844
四半期包括利益合計	17,891	7,952	25,844	222,068	△3,474	218,594
自己株式の処分	—	—	△186,227	△16,339	—	△16,339
配当	—	—	—	△178,432	—	△178,432
株式報酬取引	—	—	75,744	88,681	—	88,681
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△16,377	16,377	—
所有者との取引額合計	—	—	△110,482	△122,467	16,377	△106,090
2025年3月31日残高	△29,841	64,767	868,739	23,241,123	14,774	23,255,897

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	譲渡制限付株式
2026年1月1日残高	7,147,905	7,615,311	△2,687,824	11,297,136	876,261	△14,000
四半期利益	—	—	—	539,771	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	—	539,771	—	—
自己株式の処分	—	77,252	111,137	—	△188,390	—
配当	—	—	—	△315,322	—	—
株式報酬取引	—	—	—	198	78,707	14,000
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	77,252	111,137	△315,124	△109,682	14,000
2026年3月31日残高	7,147,905	7,692,563	△2,576,687	11,521,783	766,578	—

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の公正価値の純変動	合計			
2026年1月1日残高	△29,484	65,848	898,625	24,271,153	21,688	24,292,841
四半期利益	—	—	—	539,771	△10,472	529,299
その他の包括利益	△180	8,843	8,662	8,662	—	8,662
四半期包括利益合計	△180	8,843	8,662	548,434	△10,472	537,962
自己株式の処分	—	—	△188,390	—	—	—
配当	—	—	—	△315,322	—	△315,322
株式報酬取引	—	—	92,707	92,906	—	92,906
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△95,682	△222,416	—	△222,416
2026年3月31日残高	△29,664	74,691	811,605	24,597,170	11,216	24,608,386

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	297,727	833,569
減価償却費及び償却費	810,642	867,590
株式報酬費用	81,097	78,997
金融収益及び金融費用 (△は益)	43,495	19,515
持分法による投資損益 (△は益)	11,539	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	140,450	292,419
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△42,624	120,657
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△413,664	△270,916
前払費用の増減額 (△は増加)	△160,077	△184,766
長期前払費用の増減額 (△は増加)	20,233	26,318
未払従業員賞与の増減額 (△は減少)	△280,077	△359,584
契約負債の増減額 (△は減少)	212,130	137,998
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△133,405	△78,287
その他	△36,244	△982
小計	551,222	1,482,527
利息の受取額	1,762	3,589
利息の支払額	△3,224	△3,066
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△212,601	△241,192
営業活動によるキャッシュ・フロー	337,160	1,241,859
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,664	△4,863
無形資産の取得による支出	△1,170,077	△1,111,381
貸付けによる支出	△3,000	△4,607
貸付金の回収による収入	1,309	1,684
敷金及び保証金の差入による支出	△394	△881
敷金及び保証金の回収による収入	183	205
投資事業組合からの分配による収入	3,800	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,170,843	△1,119,844

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△275,004	△301,142
リース負債の返済による支出	△202,909	△213,075
配当金の支払額	△178,432	△315,322
コミットメントライン関連費用	△2,000	△20,518
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,345	△850,057
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	19,560	△107
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△972,469	△728,150
現金及び現金同等物の期首残高	4,305,936	4,121,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,333,467	3,393,181

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループはITサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。